

仕 様 書

光散乱式液中粒子検出器

KS-18FX

仕第 1 1 P 0 3 3 号

[第 1.1 版]

リオン株式会社

TEL : 042-359-7878

FAX : 042-359-7458

仕 様 書

平成 23 年 9 月 6 日制定
仕 第 11P033 号
リオン株式会社

品名 散乱式液中粒子検出器

型式 KS-18FX

概要 本器は、液体中に浮遊している粒子を光散乱方式により検出し、その粒径と個数濃度を測定する液体用の粒子検出器である。接液部にサファイア、PFA を使用しているため、フッ化水素酸溶液の直接測定が可能である。コントローラ KE-40B1 と接続することにより、最大 10 段階の粒径区分を有する液中微粒子計数器として機能する。粒径区分は KE-40B1 を介して、 $0.04\mu\text{m}$ ～ $0.15\mu\text{m}$ の範囲で任意に設定できる。
工場出荷時には $0.04\mu\text{m}$ 以上、 $0.08\mu\text{m}$ 以上、 $0.1\mu\text{m}$ 以上、 $0.15\mu\text{m}$ 以上の 4 段階に設定されている。定格試料流量は $10\text{mL} / \text{min}$ 、計数効率は 3% である。実際に粒子を検出するために測定する実効試料流量は、定格試料流量に計数効率を乗じた $0.3\text{mL} / \text{min}$ となる。
本器は測定のための操作部、表示部を有せず、KE-40B1 からの制御によって測定動作する。また、電源も KE-40B1 から供給される。本器は液漏れを検出するセンサを内蔵しており、万一、本器内で液漏れが発生した場合には、警報を出力できる。
なお、本器は流量調整の手段を持たないので、別途流量制御システムを用意する必要がある。

仕様

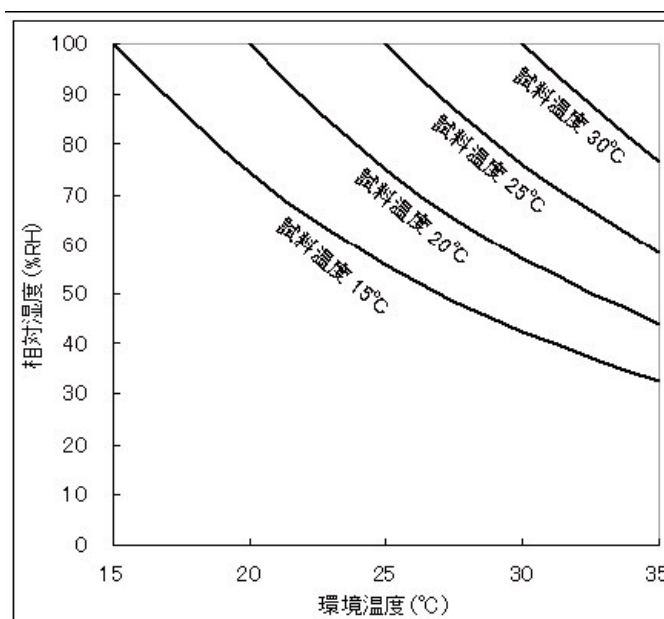
光学方式	光軸交角 90 度側方散乱方式
光源	半導体レーザー励起固体レーザー（波長：532 nm、定格出力：500 mW）
レーザー製品のクラス	クラス 1、IEC 60825-1（2007）による ただし、内部の粒子検出機構にクラス 4 に相当するレーザーを使用
集光系	球面レンズによる
受光素子	シリコンフォトダイオード
導入可能な液体	接液部を腐食しない液体
校正	純水中のポリスチレンラテックス（PSL）粒子（屈折率 1.6）による PSL 粒子は、NIST（米国標準技術局）にトレーサブルなものを使用
最小可測粒径	$0.04\mu\text{m}$ （純水中の屈折率 1.6 の球形粒子の場合）

可測粒径範囲	0.04 μm ～0.15 μm (純水中の屈折率 1.6 の球形粒子の場合)
粒径区分	0.04 μm ～0.15 μm の範囲で任意に設定 (0.01 μm ステップで最大 10 段階、設定はコントローラ KE-40B1 から行う。 ただし、最小粒径区分 (CH1) の設定可能粒径値の上限は 0.08 μm) 出荷時は 4 段階 (0.04 μm 以上、0.08 μm 以上、0.1 μm 以上、0.15 μm 以上) に設定
定格試料流量	10 mL/min
試料導入口／排出口	$\phi 2 \times \phi 4$ フレア加工チューブ用継手
パージガス	<p>下記のような、内部の光学系や電気回路に悪影響を与える恐れがある場合は、パージガスを本器内に送り込む 別売品のパージエアユニットを装備する場合は導入不要</p> <p>クリーンルームの清浄度クラス 6 (JIS B 9920、ISO 14644-1) より清浄度の低い環境で使用する場合試料液体温度が環境温度より低く、フローセルを結露させる可能性がある場合 周辺環境から腐食性蒸気が入り込む可能性がある場合 内部の PFA チューブを腐食性蒸気が浸透漏れする可能性がある液体を流す場合</p>
パージロ	$\phi 6$ 管用ワンタッチ継手
パージガスの条件	<p>清浄で乾燥した空気または窒素ガス</p> <p>温度 15$^{\circ}\text{C}$～35$^{\circ}\text{C}$ 流量 5～10L/min</p>
試料圧力範囲	300 kPa (ゲージ圧) 以下
試料温度範囲	15 $^{\circ}\text{C}$ ～35 $^{\circ}\text{C}$ (フローセル部に結露を生じないこと)
接液部材質	サファイア、PFA
計数効率	3% \pm 1% (光源波長に対して屈折率 1.26～1.43 の溶媒中に 0.15 μm 付近の PSL 粒子を分散させた試料を、標準器 (液中微粒子計) と比較測定した場合)
実効試料流量	0.3 \pm 0.1 mL/min (光源波長に対して屈折率 1.26～1.43 の溶媒中に 0.15 μm 付近の PSL 粒子を分散させた試料を、標準器 (液中微粒子計) と比較測定した場合)

最大定格粒子個数濃度	30,000 個/mL (計数損失 10% 以下)
偽計数	平均 0.6 個/mL 以下 (粒子以外によるノイズの計測に限定するため、光源を消灯した状態で試験)
予熱時間	15 分以内 (電源 ON から) 5 分以内 (測定休止中のレーザ消灯状態にレーザ点灯命令を受けたときから)
表示ランプ	2 色発光ダイオード
PARTICLE MONITOR	最小可測粒径以上の粒子を検出すると瞬時点灯 (緑点灯)
LIQUID LEAK	正常時は緑点灯 本器内部で液漏れを検知すると赤点灯
CELL	正常時は緑点灯 フローセルの汚染や結露、または最大定格粒子個数濃度を超えた試料が流れた場合に赤点灯 光源消灯時は消灯
LASER	正常時は緑点灯 レーザ電流が一定値増加した場合 (光源寿命が近い状態) に緑点滅 (1ヶ月以内のメンテナンスを推奨) 光源の温度が異常な場合に赤点灯 光源の出力が異常な場合に赤点滅 光源消灯時は消灯
POWER	電源が入っている間は緑点灯
入出力端子	
CONTROLLER	コントローラ KE-40B1 と接続する
LIQUID LEAK ALARM	正常時は短絡、本器内部で液漏れを検知すると開放になる警報出力端子 (断面積 1.25 mm ² の電線 (AWG16) を接続) 最大負荷 : DC 30 V、1 A
設置傾斜角度	2° 以内 (内蔵の漏液センサが正常に動作する範囲)

使用温湿度範囲 15℃～35℃、80%RH 以下

(結露のないこと。下のグラフで周囲環境の温度と相対湿度がグラフ上の試料温度毎の曲線より右上の範囲のときフローセルに結露が生じる可能性がある)



保存温湿度範囲 -10℃～50℃、90%RH 以下 (結露のないこと、流路内部の凍結のないこと)

電源 DC 12 V (コントローラ KE-40B1 より供給される)

消費電力 90 VA

寸法・質量 157 (高さ) × 277 (幅) × 462 (奥行) mm (最大寸法)
147 (高さ) × 272 (幅) × 442 (奥行) mm (突起物を除く)
約 12 kg

付属品	チューブ A 真空パック	1
	(φ 2 × φ 4 PFA チューブ片側フレア加工 1.5 m 2 本、ユニオン継手 1 個)	
	接続ケーブル A (1 m) KS-42-125	1
	取扱説明書	1
	運搬・設置についてのお願い	1
	液中微粒子計使用上の注意	1
	保証書	1
	検査票	1

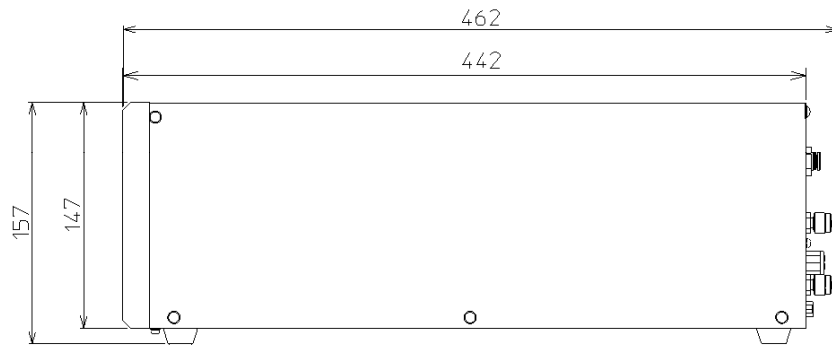
別売品 コントローラ KE-40B1
パージエアユニット

消耗品 レーザ、フローセル、筐体シール用エアパッキン

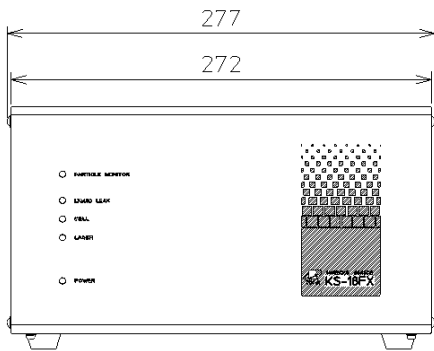
定期校正周期 1 年



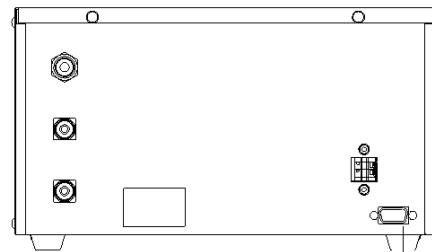
上面図



右側面図



正面図



背面図

単位：mm

外形寸法図

本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。